

自立の会は、障害者が働き、物が入るとともに、いきいきとした生活が出来る社会づくりに努めています。

栃木障害者の自立をめざす会

# はばたけ



第二回ゆうの家まつり  
共作連全国大会in北海道



## 自立の会第十回定期総会開催



1987年4月に設立総会を行ってから九十年、第十回定期総会を6月9日栃木サンプラントにて開催しました。

この間を振り返ると、90年の6月に福祉ショップゆうの家を開業、94年4月には共同作業所ゆうの家を開所し、自立の会も大きく発展してきました。また、十数名で始めた会が今では140名にまでなりました。

一方、栃木市を中心に授産所建設準備会が進めている30名規模の授産施設が98年に開所の予定です。栃木市としては、現在ある小規模作業所はそのまま残しておくながらも将来的には分場方式も考えておりましたが、ここにきてあくまで作業所を分断独立させていくという考えを打ち出してきました。そうなるかと授産施設と小規模作業所との格差がでてるのは懸念しています。

こういう状況の中で、自立の会として今後どのようにゆうの家を発展させていくかという大きな節目にも当たる総会でした。そして障害者福祉をより充実させるためにも、設立準備会の進める授産施設建設に協力する一方、自立の会独自の長期展望計画を早急に作成するため、役員会のもとに専門部を置き、自立の会とゆうの家の活動指針を提示していくことになりました。

総会終了後に行われたバーベキュー大会では、仲間たちも含め40名以上の参加があり、用意していたビールもあっという間になくなってしまふほどの盛り上がりでした。

今年度は、自立の会発足10年、ゆうの家の開所して3年、会員とのますますの交流を深めることと、資金づくりもかねて、収穫祭やダンスパーティーも予定しています。

【谷田】

# ゆうの家通信



「ゆうの家」の仲間たちの取り組みを紹介するコーナーです。

## 調理実習について 小松清美

6月28日(金)

今日は、皆川地区公民館でゆうの家の仲間たちと指導員の方々といっしょに調理実習を行いました。

A班からB班に分かれて、仲間たちが決めたメニューを作ることに、皆やる気満々でした。ひさびさに新井さんとボランティアの福田さんが来てくれて、仲間はほっとしました。

B班とD班はチャーハンを作ることに。皆できることを、それぞれにがんばって、楽しく切ったり焼いたりして、チームワークは最高でした。C班は、ポテトサラダを作る班で、石川さんのもて、皆やれることを一生懸命にがんばっていました。

A班のキムチなべ、C班のポテトサラダ、B班とD班のチャーハン、それぞれのグループがすごくがんばって野菜を切ったり焼いたり、これまでの調理実習が役に立ったと思いました。お料理はベリグーでした。やはり、がんばって皆で力を合わせれば何も恐れることはないのだと思いました。

今日の仲間たちの笑顔はステキでした。楽しい調理実習の機会がまたあるといいなと思いました。



Quint

## こぶし作業所を見学して 島田唯

7月5日の金曜日に、みんなで宇都宮のこぶし作業所へ行きました。こぶしの自治会役員の人たちと交流をしたり、仕事場の見学をしたりしました。

仕事はベアリング、ゴムのバリ取り等班に分かれて一生懸命にやっていました。仕事場は広くていいなあと思いました。

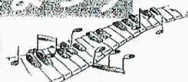
自治会の話し合いは、僕たちの質問にのびに答えてくれました。仕事以外の時間は、作業班の打ち合わせ、トランプ、足の運動等をして遊ぶそうです。自治会では毎月1人200円で誕生会をしたり、きつき部、レクリエーション部、衛生部等があるそうです。聞いてきた話を参考にして、僕たちの自治会を作ろうと思います。



※これまでゆうの家では、主に作業のまとめ役である「班長」という役割はありましたが、仲間が増えるにつれて「自治会」の必要性が高まってきました。この間、役員候補者で自治会づくりに取り組み、その一つとして、こぶし作業所見学を行いました。これらの成果として、つい9月6日にゆうの家自治会結成総会が開かれ、自治会が発足。新しい役員さんたちの今後の活躍に期待したいと思います。

# 第2回ゆうのまつり

5月12日(日)



保育園の子どもたちと保育さんによる勇壮な太鼓の音とともに、第2回ゆうの家まつりが始まりました。前野町三丁目公民館とその横の会場には、焼きそば・ポテトフライ・おもち・コーヒー・わたあめ・ゲームコーナー・バザーなどのテントが所せましと並びました。待ちかねていた子どもたちやご近所の皆さん、また協力の方々でにぎわいました。

今回は仲間も各コーナーに何名か入ってもらい ボランティアの方たちと一緒に販売活動に参加しました。

今回は準備期間が短かった割に、食品の仕入れから、テント・駐車場や案内板・ポスター・チラシの手配などが実行委員中心に割とスムーズに進めることができたようです。これも自立の会の長期間の運動できたえられた知恵と、いざというときのチームワーク「実力」だろうと、い

つものことながら感心しました。

数日前には、仲間・職員も朝の散歩時間を利用して、ご近所に宣伝ビラを配りました。「ゆうの家はどこにあるの？」と聞いてくださる方、バザー用品を届けてくださる方もあり、とてもうれしく思いました。

フィナーレは、いよいよ仲間が主役の時です。昨年、市内のほかの障害者団体とともに、デンマークの知的障害者のロックバンド「ポップコーン」のコンサートに取り組みましたが、そのときに前座として発表した手話付きの歌「冬から春の光」ほか2曲を披露し、堀川君のあいさつでしめくりました。

また1つ大きな仕事をみんなでやり終えたという充実感を得た一日でした。会員・ボランティアの皆さん、ご協力ありがとうございました。

【石川】



細仕事をしている姿を見てるとみんなの個性がよく判ります。汗をかきながら下を向いて一生懸命仕事をしている姿は本当に素敵です。私は大好きです。仲間たちと過ごしたあの日は故かゆったりした気持ちになります。私をつけてこうオツチヨコチヨイでヘマをやりますが、今後ともよろしくお願います。



島田直美さん（ボランティア実習）

最初はかなり緊張していたようですが段々と打ち解け、今ではすっかり「ゆうの家」の一員となつた島田さん。とっても優しい女性です。

私は今まで作業所という所は「障害者を持つ人たちが話もせず、ただ黙々と仕事をしているような、そんな暗いイメージしか持っていませんでした。そして「ゆうの家」でボランティアをさせていただき、今まで持っていた先入観がなくなりました。

# ゆうの家の仲間紹介



島田 唯

僕は昨年の五月三十一日までは大川さんの所で働いていましたが、仕事がないために六月一日からは「ゆうの家」で働くことになりました。仕事内容は、主にT.O.M.Y.の使い捨てカメラやシーコッコの仕事をしたりしていましたが、僕の出来る仕事がありませんので、「ゆうの家」に来て良かったと自分自身は思っています。「ゆうの家」での仕事は、フィルタや畑・新聞、そして木・金曜日は堀川さんと僕の二人で店の方も担当することになりました。自分としては、仕事の方は今の所はフィルタに専念していますが、もっと他の仕事も自分でしてはこれからぼちぼち考えていきたいので、よろしくお願います。それから店の方も、もう少し将来的には広くしてほしいと思います。それから作業所に対する要望ですが、今のところは何も書くことがないので書きませんの

私は学校のカリキュラムのため毎週金曜日、計十回というボランティアでした。たった十回のボランティアでいいけど、ほぼ毎回と言っても過言ではないけど何らかの仕事があつたように思っています。その度、仲間たちの嬉しそうな笑顔を見ることができ、私も幸せな気分になりました。共同作業所「ゆうの家」は家庭的な雰囲気を持つたと

共同作業所  
ゆうの家  
非常勤職員  
Part 2  
ボランティア紹介



も暖かい作業所です。私は、優しい心を持つたとてモ明るい仲間たちが大好きです。私は四月から幼稚園に就職することになり、みんなと会う機会が少なくなるかと思いますが、この十日間のことは忘れません。本当にありがとうございました。

でご了承ください。性格の方ですが、野球で中日が負けると暗くもつてしまうので悪しからず。でも、これからは野球のことは口に出さずに仕事だけに専念すると思いますが、よろしくお願います。

堀川 智生

僕は、六月十五日から「ゆうの家」に仲間入りしました。メンバーはみんな僕の事を覚えていてくれて、あっさり仲間に入れてもらえました。毎日の主な仕事はフィルタ入れです。火曜日の午前中は音楽活動で、歌ったり楽しい運動をします。水曜日は知作業、木曜日は新聞折りなど、曜日によって大体の仕事が決まっています。最初は緊張のしっぱなしでしたが、近頃は自分の不安や心配を忘れて周りの様子に気持ちを向けられるようになってきました。九月から週一回、店番の仕事に挑戦しています。最初はお客さんが来たらどうしようと思いましたが、だんだん、もっともつとお客さんが忙しくなつてほしいなあと思っています。「ゆうの家」でいろいろな勉強をして、新しい仕事やいろんな挑戦して、僕にはどんな仕事が出るのか、どんな仕事があつているのか、どんなことが僕にとって楽しい仕事なのかを見つけたいと思っています。





# 共作連全国大会 in 北海道

■ ちゅうの家が加盟している「共同作業所全国連絡会」(以下、共作連)の第19回全国大会が北海道の旭川で開かれました。ちゅうの家からは仲間3名、親3名、職員1名の計7名が参加。大会には全国から2000名近くの参加者が集まり、会場は熱気にあふれていました。山田洋次監督の記念講演、夜の歓迎交流会ではパーベキューと伊藤多喜雄ライブ、また仲間たちは乗馬や観光を楽しみ、親・職員は各講座で大いに学ぶことができました。来年は大阪で20回記念大会が開かれます。

## 参加者の声



★ あこがれの地北海道行きの夢が膨らんだり潤んだりして4年目、共作連全国大会への参加でやっと実現しました。

親子とも初めての飛行機に不安と期待で羽田に…。いざ搭乗! あれっ?…タラップじゃない(テレビじゃ手を振ってるのに)。行きの機内では気圧の変化に快適とはいえなかったがスチュワーデスのサービスに感心したり、他の人の肩越しに外を(下)を覗いたり、好奇心でワクワクソワソワしているうちに旭川到着。ロービーにはたくさんの中老年ボランティアの出迎えがあり爽やかな冷気とともに旅行気分が引き締まり、全国大会への思いが高まりました。

大会参加は17回大会(埼玉)について2回目ですが、今回も参加者の幅の広さや質の高さを感じました。どこからの参加なのか、羽田では固定型の車椅子の女性が楽しそうに仲間に関われていたり、男子職員におぶわられた人、同じホテルでは介護者に抱かれスプーンで食事をする人など…。共作連ならではの熱意とパワーは刺激

です。大会では良き指導者の話が楽しみなもので、入門講座を受けましたが、特に吉本哲夫さんの「障害者プランナーマライゼーション7カ年戦略」と21世紀をめざす障害者運動の課題は2時間・休憩なしでも最後まで集中できた講座でした。

日帰りの埼玉での大会に比べて自分なりに感じたのは、全日程を通して参加して初めて理解できる良さや意義があると言うことでした。

早苗もすこぶる元気に参加でき、乗馬も体験し、大会終了後ちよびり北海道も味わえ、楽しんできた旅でした。来年は大阪ですね!

道仲:北海道で覚えたジュースのお酒を時々と楽しんでいます。先日は早苗にカンパイしようと言われました。ちなみに私の適量は500cc、早苗は1000ccで打ち止め。

【高木文江】

★ 6月21日(金)。全国大会に出席するため、二人分の大きな荷物。こんなに重い荷物を持って旅に出るのも初めてのことなので、飛行機に乗るのも初めて、もちろん北海道も初めてです。

影子の体調もよく、朝を迎えいざ出発! 栃木駅に7人で合流し羽田へ。13時05分発の飛行機に乗り、離陸してしばらくの間元気があった影子ですが、飛行機に酔ったのか着陸するまで嘔吐が続きました。体調が悪くなってしまったので旭川空港から係の方の車で送っていただいた。(なんと、「どんぐり家」の作者・山本さむむと一緒に車でした:編集部注) ホテルで落着き、体調も良かったので、皆さんと一緒に外に出て「雪の美術館」「優良良織工芸館」を観光しました。

22日(土)。全国大会開会式では山田洋次監督の記念講演、14時からそれぞれの分科会へ。私と高木さんは、入門講座に参加した。その間影子たちは「仲間の集い」で乗馬体験。18時から歓迎交流会へ。食べて飲んで飲んで睡った2時間。よく迷子にならなかったと思います。

23日(日)もそれぞれの分科会へ行き、影子たちは9時から3時間の「仲間の観光」に。早苗さん、島田君と一緒にだったので安心して送り出されました。ボランティアの方々と楽しんできたようです。

お昼で大会日程が終了し、ここからは高木・萩野谷親子の観光旅行に出発。旭川から札幌の宿に移動し、時間を借しで街を散策に行きました。狸小路、大通公園、イベント広場では早苗さん念願のトウモロコシを食べました。甘くておいしかったです。

宿に戻り、たみの部屋でゆっくり食事を取り、お風呂へ。浴衣に着替えた影子と早苗さん、二人そろそろ雰囲気似合っ

て12歳になったばかりの早苗さん、つぶつぶ果実入りお酒を飲んで気持ちよく床につきました。

24日(月)。函館本線で小樽に。遅河通りを歩き、観光物産プラザ、プリキのおもちゃ博物館、オルゴール館、オルゴール堂、からくり動物園、風土館等を観光しました。また北一硝子三号館ではライトに照らされて輝くクリスマスツリー、オルゴール、花瓶等欲しいものがたくさんありましたが、値段も良くて手が出ませんでした。それから札幌に戻って夕食までの時間、4人の希望で大通公園へトウモロコシを食べに。そこに鳩がえさ欲しさに足下までくるので、足をベンチの上にあげ、「あっち行け」と恐がる影子でした。

この日の夕食はカニ懐石。大きなクラブガニが最後に残って出されてお腹いっぱいまで食べきれず残念でした。でも最高!

25日(火)。自宅に荷物を郵送し、身軽になって新千歳空港へ。昼食を早めにとって酔い止めの薬を飲ませ、飛行機に乗り込みました。前の方の窓際の席だったので外を見ることができました。天候があまり良くなかったので気流にぶつかり、飛行機がゆれたり音がしたりと最初は少々緊張気味でしたが、影子は酔うこともなく、機内サービスおいしそうに食べてリラックスした様子で羽田に着き、我が家に戻ってきました。

一緒にした皆さん、お世話になりました。

【萩野谷芳江】



# CULTURAL CIRCLE

かるちゃーくらぶ

## 文芸 LITERATURE

### 車椅子の彼女

石川慶久

君の瞳は  
あまりにも かえがたく  
ぼくの ふるさとを  
おしまい おこさせる 君のちぎり裂よ  
混んだ瞳の力は 祈りの実り なのだろう

ことばもない  
車椅子の 二十歳の女性よ  
君の瞳は ぼくを飲み込む  
ボリネシアの  
解き放つ  
透明 碧い藍波  
飲みの 旅旅

この 豊かな胸を  
あなたの 細く狭い胸に  
ぎゅっと抱きしめられて  
わたしの 胸のうちを はりつけた  
ちぎり裂の 山近い水車小屋まで  
せせらぎを聴きよ  
一緒に出かけましょうか  
身ふたつ みらびきに よりそういのち  
主に背いたあなたも  
心を尽くし 知恵を尽くし 力を尽くし  
朝に祈り 夕に祈り  
ささえおくれ わたしをささえおくれ  
清らかな瞳に なりますように!

(いしかわよしひさ・ボランティア)

## MOVIE 映画

### ショーシャンクの空に

1994年米映画 フランク・ダラボン監督

評者 田野静江

同じ時期に公開された「フォレスト・ガンプ」は「ついてない男の話」、「ショーシャンクの空に」は「ついてない男の話」です。「フォレストガンプ」のほうがより有名ですが、私は「ショーシャンクの空に」の方が好きです。ただご覧にならない方に、絶対おすすめの映画です。

アメリカでホラー小説家として有名なステイブン・キングの作品の中で「スタンド・バイ・ミー」と並ぶ「非ホラー小説」の傑作「刑務所のリタ・ヘイワース」を忠実に映画化したものだからです。

妻とその浮気相手を殺したという罪で、ショーシャンク刑務所に入れられた若き銀行頭取アンディー(ティム・ロビンズ)。最初はイジメや性的暴力に遭いますが、やがて元エリート銀行マンの才能を発揮し、所長公認の「刑務所内私設会計士」として地位を固めます。が、しかし...

20年以上にわたるアンディーの刑務所暮らしの中で深めた友情や、数々の逸話はとても感動的ですが、とりわけラストはうれしく涙が出ます。病院が舞台の「カッコーの巣の上で」を観たときは、「病院はこわいところだ、なるべく行きたくないものだ。」と思いましたが、刑務所が舞台のこの作品では、「刑務所はこわいところだ、入らないように気を付けよう。」と思いました。

(たのしずえ・指導員)

# はばたけ 案内板 はばたけ

## 第8回 旧物本・雑誌の買取会

10月10日(木・祝)より13日(日)

栃木市文化会館ほか

★会場において自立の会で販売活動を行います。諸般の事情により、取食物の製造販売は行わず、作業所・福祉ショップの製品等の販売が中心です。

## 福祉ショップゆうのそ

毎月月初から金曜まで

10:00-15:00

★ゆうの家をはじめ各地の作業所で作った製品、ボランティアの手作り品、盆子焼き、贈り出し物のバザー一品などを販売しています。ぜひ一度気軽にお立ち寄りください。

栃木市柳橋町 TEL.24-5985



## どれあいのつどい

11月3日(日・祝)

栃木保健福祉センター

★毎年恒例の福祉まつりです。自立の会・ゆうの家で模擬店・物品販売に取り組みます。今年から会場は運動公園ではなく福祉センターです。

## ボランティア募集中

★共同作業所ゆうの家、福祉ショップゆうの家では随時お手伝いいただける方を探しています。時間・内容等は事務局までお問い合わせください。

## 編集記

◆自立の会の機関誌「はばたけ」が長い歴史を新たにして久々の刊行となりました。自立の会・ゆうの家の取り組み等はもちろん、楽しめるコーナーも企画し、隔月発行の予定です。◆共同作業の全国集会是、講演や分科会のレベルの高さはもちろんですが、全国から集まってくる多くの仲間たちに本当に励まされる思いがしました。個人的には大会後、北海道芽室町の共同作業所「アットホームめむろ」を見学させていただきました。北海道らしいダイナミックな取り組みに、大きな可能性を見ることができました。いっしょに紙面でも紹介していきたいと思っています。指導員の藤原さん、芽室青年サークルの遠藤さん、どうもお世話になりました。【本間】

## 機関誌 はばたけ

NO.33

1996年9月20日発行  
栃木障害者の自立をめざす会

事務局：〒328 栃木市西原町402-2

中山全央 tel. fax 0282-23-3236